



『ごんぎつね』



5年
加瀬 弘明くん

※いろいろな色
を使ったり、
色をこくした
りました。



2年
大木 健司くん

※きいろくて、
あまくて、と
てもおいしい
とうもろこし
でした。かお
がよくかた
と思います。



『おいしいとうもろこし』

あつまれ
みんなの
力作



6年
小浅 理恵さん

※仮面の顔をこ
わくするのが
むずかしかつ
たです。色ぬ
りがはみだし
雑になってし
まいました。



『仮 面』



『なわとびをする友だち』



3年
伊藤 恵美ちゃん

※紙はん画のい
んさつがむず
かしく、3回
目にやるとき
れいにいんさ
つできました。



『仮 面』



6年
布施 智子さん

※仮面を切るの
に、少しまが
つてしまいま
した。色をぬ
るのにちよつ
とはみだして
しまいました。



4年
村越 雅史くん

※ボールを投げ
るようすがよ
くわかるよう
に、手や体の
向きをくふう
しました。



『野球をしているところ』



大木静波子（篠本二区）
五十年庭のシンボルこぶし咲き
石庭いよよ春を整ふ

春さがけて咲く辛夷によせる愛
情と共に満たさるる心情。

伊藤 定男（尾垂五区）
古日記心の動き其のままに乱れ
文字あり遠きを想ふ

身心の動きを如実にあらわす文字
の発見によせて過ぎし日の思ひ出
が甦る。

土屋 好（虫生）
日曜の田圃いよよ活気づく出稼
の人等耕し始む
陽光と共に始まる春耕も日曜とも
なれば目につく人影が。

高梨 キヨ（木戸）
北国の曠野の駅に積める雪列車
の窓に迫り塞がる
しとどな北国の積雪に作者は驚き
の眼を見張る。

「短評」 竹内 紀葉